

咬合診査のご案内

小林歯科クリニック

小林 昭彦



咬合診査：フェースボウトランスファーをおこない、咬合器にて、噛み合わせを診査いたします。患者さまの場合、簡易検査で顎運動と咬合に問題がありますのでご案内いたします。



フェースボウトランスファー：平均的顎関節に対する上顎の3次元的位置関係を記録し、診断に利用いたします。

それでは、実際の正しい咬合とはどういうことでしょうか、

- 1) 奥歯がしっかり [redacted] [redacted] しっかり作られている必要があります。上下の [redacted] [redacted] 負担が軽くなります。
- 2) 下あごを [redacted] に移動するときは、上あごの [redacted] [redacted] 滑走すること。
- 3) 下あご [redacted] に移動するときは、 [redacted] が当たり滑走すること。
- 4) 前方や側方に下あごを移動するときには [redacted] は [redacted] しないで、離れていること。

咬合器こうごうき： 診断や技工物製作のため、患者様の歯型の模型を装着し、あごの運動を再現する器械。

